

IT化スモールスタート解説(第4回)

QRコード決済の基本から導入方法まで解説

2020.03.26



2019年10月の消費税増税に合わせて、キャッシュレスでの支払いに、ポイントが還元される制度が開始しました。それにより、活発化したQRコード決済が注目されています。QRコード決済はキャッシュレス決済の1つです。テレビCMでも、多くのキャッシュレス決済に対応したサービスが紹介されています。QRコード決済を事業者が導入する場合、具体的にどのようなメリットがあるのでしょうか。

今回は、QRコード決済の仕組みから、店舗が導入する際のメリット、導入方法などについて紹介します。

QRコード決済の仕組みとは

はじめに、QRコード決済の概要や仕組みについて見ていきましょう。

<QRコード決済とは>

QRコード決済はキャッシュレス決済の1つで、クレジットカード決済や交通系ICカード決済と並ぶ決済方法です。名前の通りQRコードを利用した決済方法で、スマホアプリでQRコードを提示したり、店舗が提示するQRコードを読み取ったりして決済を行います。キャッシュレス決済の中でも、非常に注目されている決済方法です。

<QRコード決済の仕組み>

QRコード決済の決済方式は「ユースキャン方式」と「ストアスキャン方式」の2種類に分けられます。

ユースキャン方式とは、店舗側が用意したQRコードを顧客がスマホアプリでスキャンし、決済する決済方式です。

一方のストアスキャン方式は、顧客側で決済用のQRコードをスマホアプリで表示し、店舗側がスキャンして利用金額を入力して決済します。

<QRコード決済の支払い方法>

QRコード決済の支払い方法は、次の3つがあります。

- 1.前払い方式(専用アプリに事前にチャージ)
交通系ICカードのように、QRコード決済用のアプリに事前に現金をチャージして、決済する方式です。
- 2.後払い方式(クレジットカードなどとも付けて利用)
クレジットカードなどをQRコード決済用のアプリにひも付け、カード経由で支払います。
- 3.即時払い方式(金融機関にひも付けて利用)
デビットカードや金融機関と直接ひも付け、利用した金額がすぐに引き落とされる決済方式です。

QRコード決済用のアプリごとに利用できる支払い方法は異なりますが、すべての支払い方式に対応したアプリもあります。

QRコード決済のメリット

QRコード決済は、顧客側と店舗側の両方にメリットがあります。それぞれの立場で得られるメリットについて見ていきましょう。

<顧客側のメリット>

顧客側のメリットとしては、次の3つが挙げられます。

- 1.現金を持ち歩く必要がない
スマホは現代の生活において無くてはならないもので、ほとんどの人が常に携帯しています。現金を持ち歩く必要がなく、スマホだけで決済できる点は大きなメリットといえるでしょう。
- 2.決済がスムーズにできる
現金決済の場合は、財布から現金を出したり、お釣りをもらったりと手間がかかります。しかし、QRコード決済であれば、QRコードを提示する、または読み取るだけで決済がスムーズにできます。
- 3.ポイント還元やキャンペーンがある
2019年10月の消費税増税のタイミングに合わせ、キャッシュレス決済の場合は、消費者にポイント還元されることになりました。2020年の6月までの限定期間ですが、最大で5%が実質割引されます。QRコード決済もキャッシュレス決済であり、多くのサービスがキャンペーンも行っているため、現金決済よりもお得に買い物できるメリットがあります。

<店舗側のメリット>

顧客側だけでなく、店舗側にもメリットがあります。

- 1.集客効果が期待できる
QRコード決済は、ポイント還元やキャンペーンがあり、利用する顧客も増えていきます。QRコード決済をしたい人を呼び込む効果が期待できます。
- 2.レジ回りの作業の簡略化
QRコード決済では現金を扱わないため、現金を受け取ってお釣りを渡す作業が不要になり、レジ回りの作業を簡略化できます。また、受け取る現金やお釣りの額を間違えるミスを防ぐのも可能です。
- 3.外国人観光客の集客が期待できる
QRコード決済は、海外ではすでにスタンダードな決済方法として利用され、2016年時点でキャッシュレス決済比率が韓国で96.4%、イギリスでも68.6%(出典:キャッシュレスの現状および意義)と非常に高い事実をご存じでしょうか。

近年では訪日外国人観光客も増え続け、QRコード決済を利用する外国人観光客の集客も期待できます。

QRコード決済の導入方法



具体的にQRコード決済を店舗に導入する方法を見ていきましょう。ここでは、NTT西日本の「フレッツ・スマートペイ QRコード決済プラン」を導入する際のコストや必要なもの、導入手順を例に解説します。

<QRコード決済を導入するコスト>

店舗でQRコード決済を導入する際のコストは、「初期コスト」「運用コスト」「決済手数料」の3種類があります。

・初期コスト

QRコードを読み取る機器などを導入する費用です。専用の機器を用意しなければならないサービスもありますが、フレッツ・スマートペイ QRコード決済プランは、手持ちのスマホやタブレットを利用でき、初期コストはかかりません。

・運用コスト

利用において継続的に発生する費用です。QRコードを読み取る専用機器がレンタルであれば、レンタル料がかかるほか、サービスによっては、サービス利用料として月額費用がかかるものもあります。なお、フレッツ・スマートペイ QRコード決済プランは月額利用料が無料です。

・決済手数料

QRコード決済では、顧客が決済した際に手数料として店舗側からキャッシュレス事業者へ決済手数料が発生します。手数料は各社異なりますが、大手事業者だと3%程度発生するサービスもあります。フレッツ・スマートペイ QRコード決済プランでは、消費者還元事業者登録をすれば、決済手数料は2.17%以下となり、お得に利用が可能です。

<QRコード決済の導入に必要なもの>

フレッツ・スマートペイ QRコード決済プランでQRコード決済を導入する場合、次に挙げるものが必要となります。

・インターネットサービス

・Wi-Fi環境

・スマホ・タブレット端末

・専用アプリ

・カードリーダー(クレジットカード決済プランを利用する場合)

まず、フレッツ光などのインターネットサービスが必要です。通信でQRコード決済をするため、Wi-Fi環境を用意してください。

また、QRコードを読み取るために使用するスマホやタブレットも必要です。ただし、スマホやタブレットは、持っている端末を利用可能です。

専用アプリについては、フレッツ・スマートペイ QRコード決済プランに契約すれば、提供されます。そのアプリを持っている端末にインストールすれば、QRコード決済が利用できます。

なお、クレジットカード決済プランを利用する際には、カードリーダーが必要となりますが、こちらはプラン申込時に届けられます。

<QRコード決済の導入手順>

フレッツ・スマートペイ QRコード決済プランの導入手順は簡単です。次の4ステップで完了します。

- 1:お申し込み
- 2:審査
- 3:再販ツール等の送付
- 4:利用開始

申し込みの後、クレジットカード会社やQR決済ブランド所定の審査基準に基づき審査が行われます。審査を通過すると、ご利用開始の2~3営業日前に開通案内書や各種ステッカーなどが送付されます。

専用アプリを端末にインストールすると、利用開始となります。

アプリのアカウントやパスワードは設定したメールアドレス宛てに送付されます。大切に保管してください。

顧客にも店舗にもメリットのあるQRコード決済を導入しよう

QRコード決済は新たな決済方法として注目され、多くの店舗で導入が進んでいます。顧客だけでなく、導入する店舗側でも多くのメリットを得られます。この機会に導入してみたいかどうか。

キャッシュレス決済の導入に際して、「導入コストを抑えたい」「中国人観光客などのQRコード決済ニーズに応えたい」と考える方も多いと思います。

NTT西日本が提供する「フレッツ・スマートペイ QRコード決済プラン」では、QRコード決済用の専用端末を用意する必要がなく、手持ちのスマホ・タブレットで利用できます。さらに、中国での利用者数が多いAliPay(支付宝)やWeChat Pay(微信支付)にも対応します。

手持ちのスマホで利用できるため、専用端末の導入費用がかからず、消費者還元事業者登録によって、決済手数料を抑えられるサービスです。フレッツ光などを利用中の店舗で、QRコード決済の導入を考える場合は、気軽にお問い合わせください。

監修=加治 直樹

銀行に20年以上勤務ののち、1級ファイナンシャル・プランニング技能士および特定社会保険労務士を取得し、かじ社会保険労務士事務所として独立。現在は労働基準監督署で企業の労務相談や個人の労働相談を受けつつ、セミナー講師など幅広く活動中。



スマホで簡単導入キャッシュレス決済
フレッツ・スマートペイ

※QRコードは(株)デンソーウェーブの登録商標です
※掲載している情報は、記事執筆時点のものです